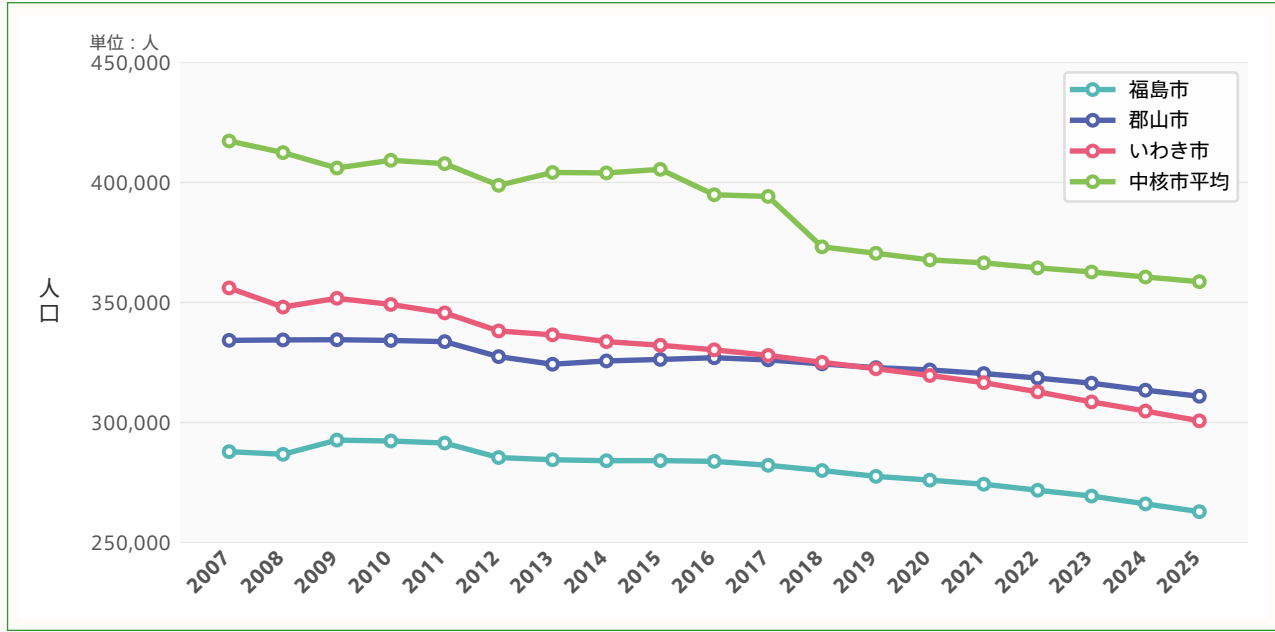


1

人口・世帯数

theme
人口構造

飯野町と合併して2009年の人口は増加したがその後は減少傾向にあり、世帯数は核家族化が進むなどにより増加傾向にあったが2024年、2025年と減少に転じている。

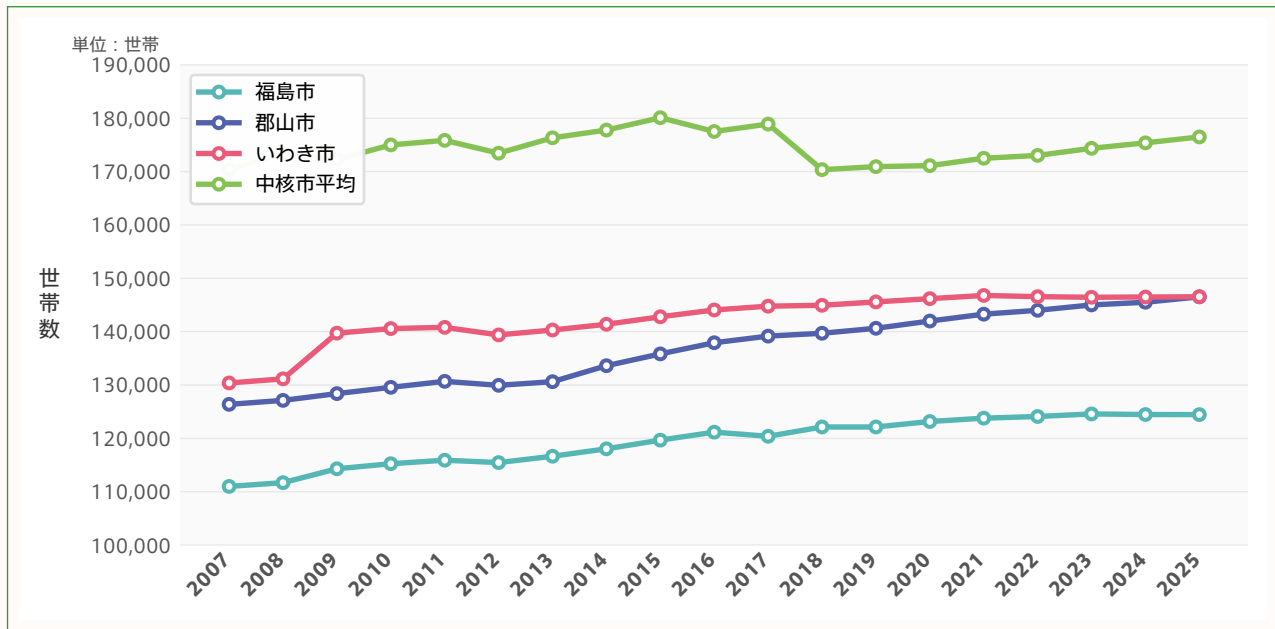
資料：住民基本台帳
基準日：各年3月31日現在

2

人口（中核市・3市）

theme
人口構造

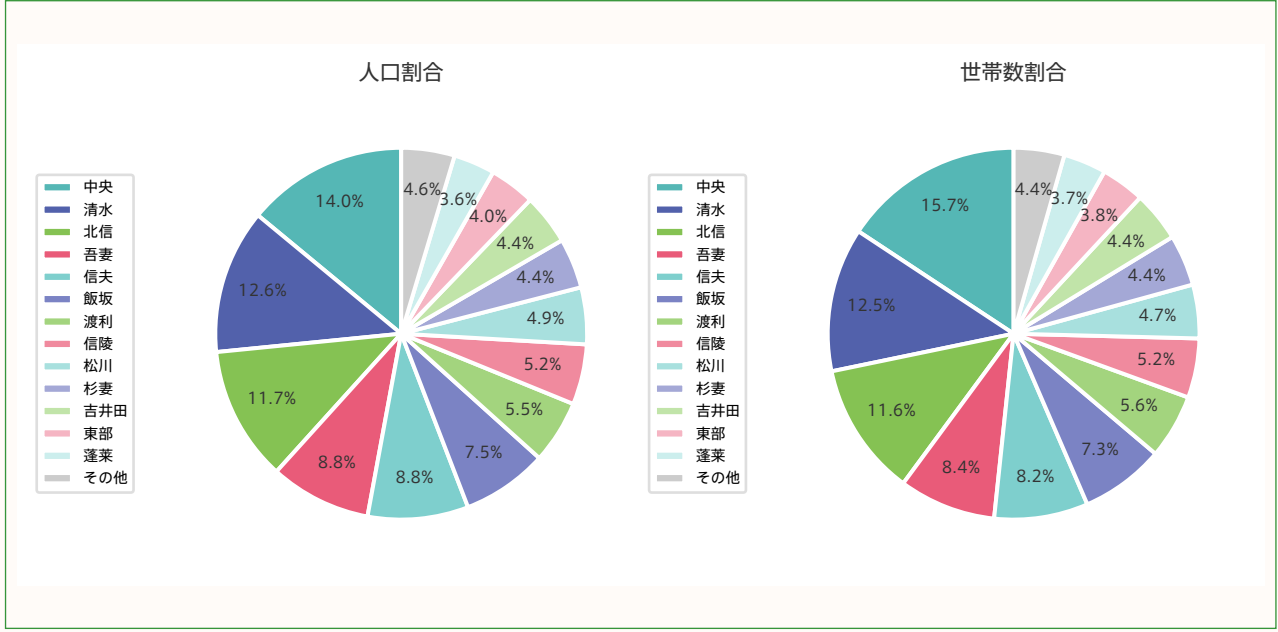
人口はいずれも減少傾向にあり、今後さらなる減少が予想される。中核市平均の2018年の減少は、中核市の指定要件が人口20万人以上の市に変更となり、20万人台の自治体が加入したことによるもの。

資料：都市要覧（中核市市長会）、住民基本台帳
基準日：各年3月31日現在

3

世帯数（中核市・3市）

世帯数は核家族化が進みいずれも増加傾向にあり、中核市平均及び郡山市は引き続き増加しているが、福島市、いわき市は上げ止まりの状況となっている。

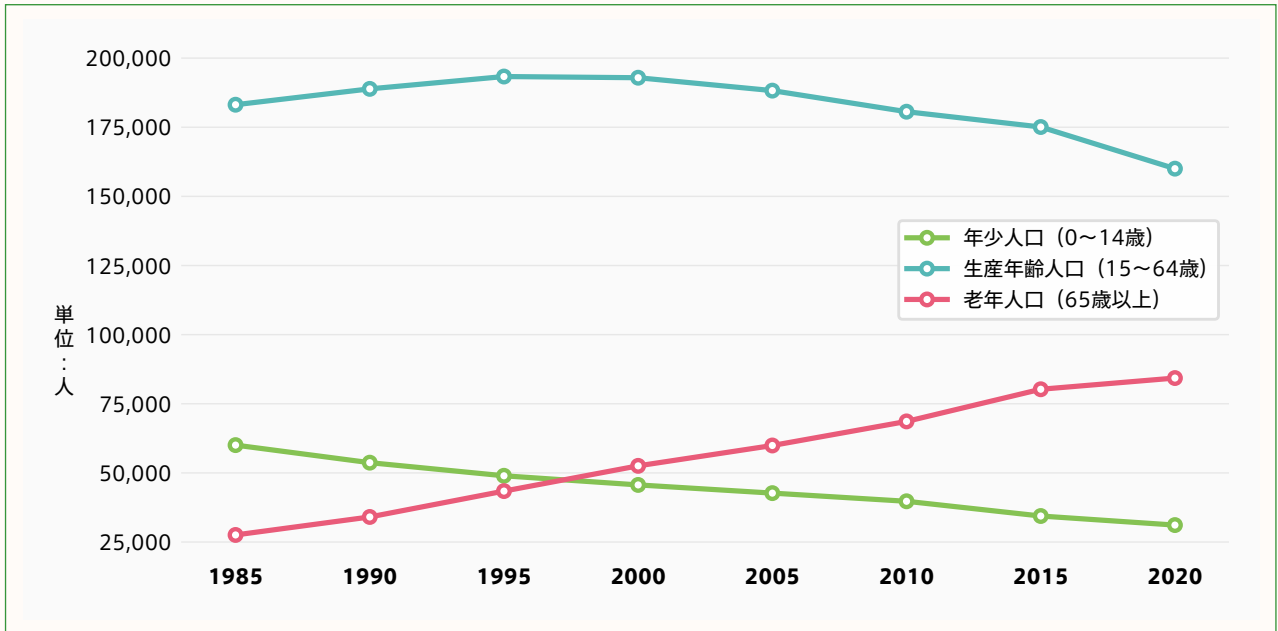


資料：都市要覧（中核市市長会）、住民基本台帳
基準日：各年3月31日現在

4

地区別（支所別）人口・世帯数割合

人口と世帯数の上位5地区はいずれも中央、清水、北信、吾妻、信夫の順となっており、この5地区が占める割合は人口が55.9%、世帯数は56.5%となっている。



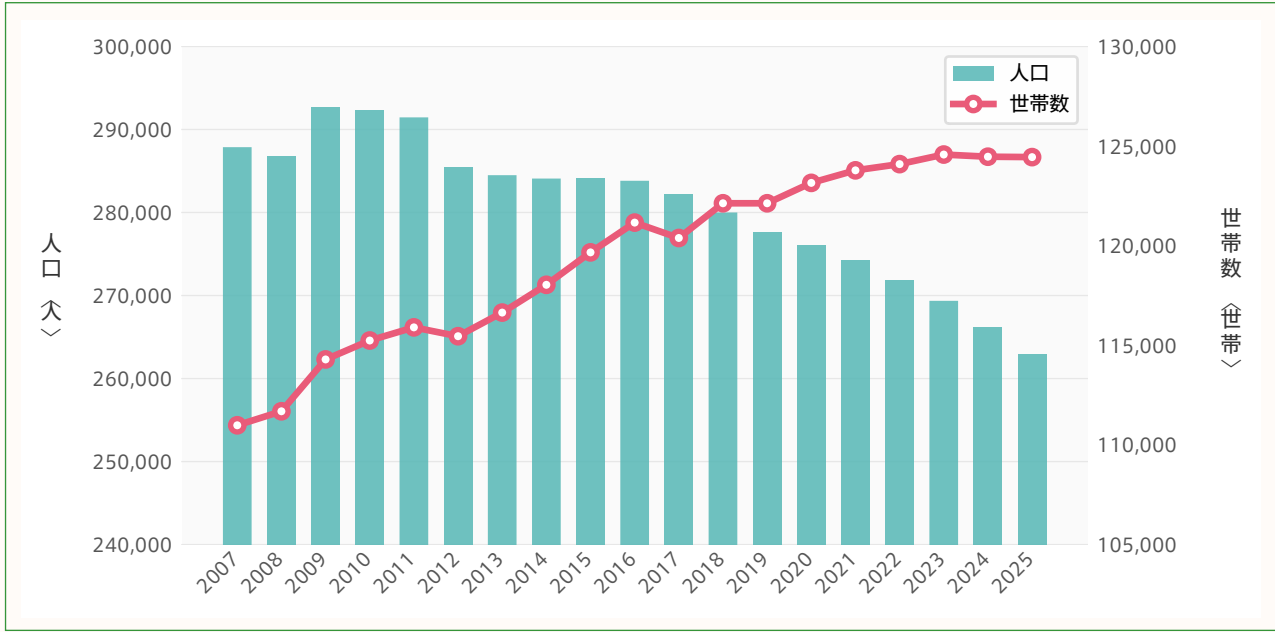
資料：住民基本台帳
基準日：2026年1月31日現在

5

年齢別（3区分）人口

theme
人口構造

老年人口（65歳以上）は2000年に年少人口（0～14歳）を抜いてその後も差は広がり続けており、生産年齢人口（15～64歳）は2000年以降減少の一途をたどっている。



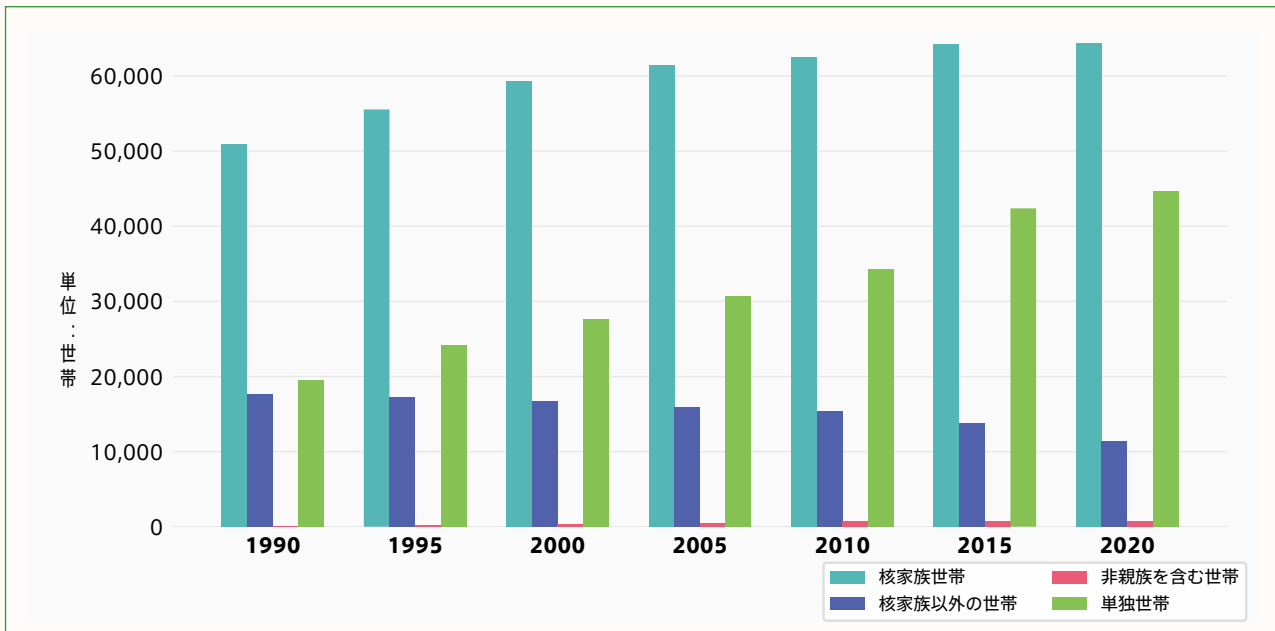
資料：国勢調査
基準日：各年10月1日現在

6

家族類型別世帯数

theme
人口構造

核家族世帯、単独世帯は増加傾向にある一方で、核家族以外の世帯（夫婦と両親から成る世帯など）は減少傾向である。

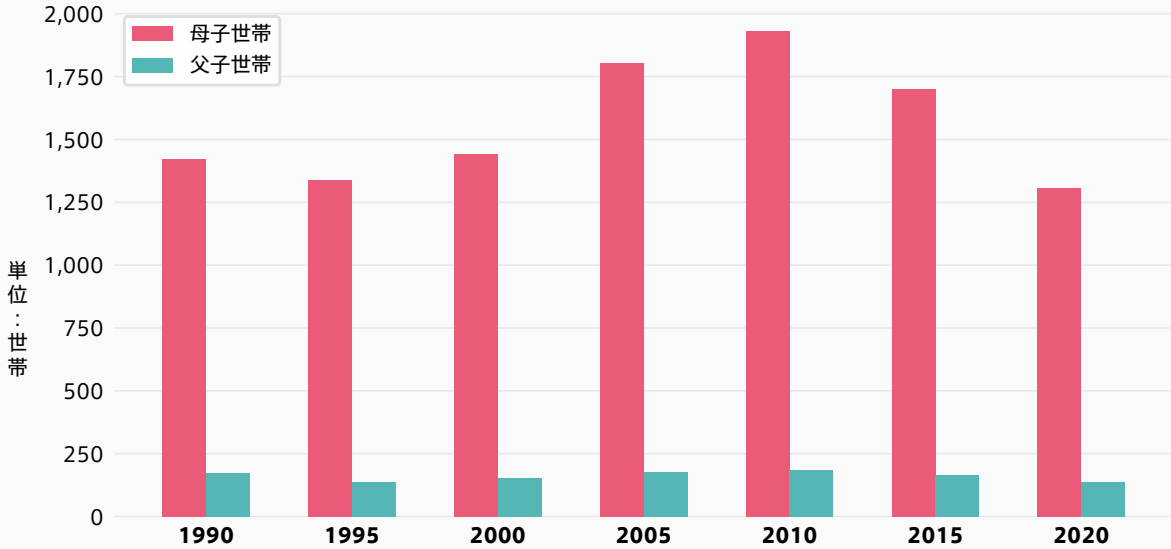


資料：国勢調査
基準日：各年10月1日現在

7

母子・父子世帯数

母子世帯は父子世帯よりも約10倍多く、2010年以降は母子世帯、父子世帯ともに減少に転じている。(母子(父子)世帯とは、死別又は離別等の女(男)親と未婚の20歳未満の子供のみから成る世帯をいう)

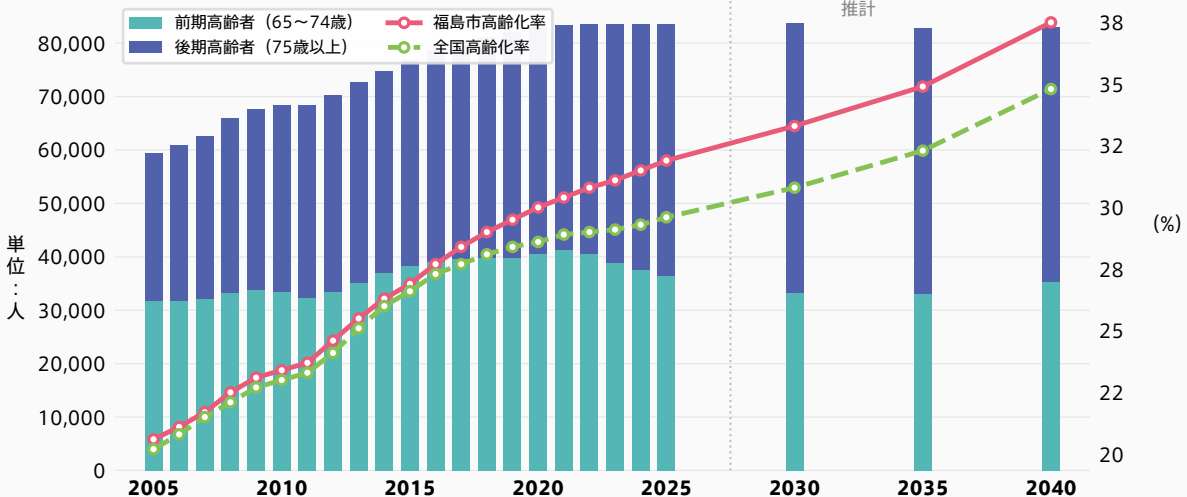


資料：国勢調査
基準日：各年10月1日現在

8

高齢者(65歳以上)数と高齢化の状況

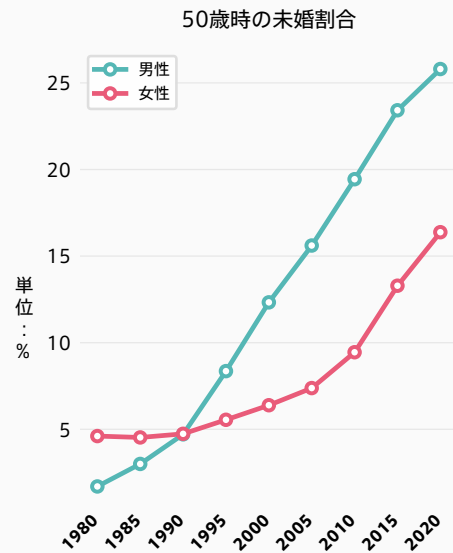
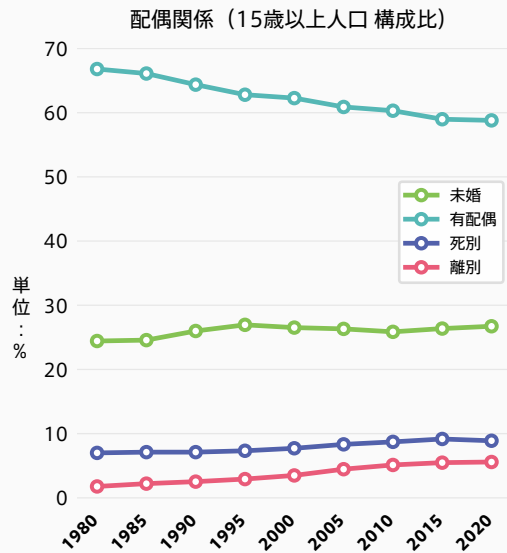
高齢者総数、高齢化率ともに増加しており、今後15年の推計では高齢者総数は減少に転じるが高齢化率は増加し続けると見込まれる。



資料：2005～2025年までは住民基本台帳、2026年以降は介護保険課推計値
基準日：各年9月30日現在

配偶関係・50歳時の未婚割合

未婚率は横ばいであるが、有配偶率は減少傾向にあり、50歳時の未婚の割合は男性が女性より約10%高い状況となっている。



資料：国勢調査
基準日：各年10月1日現在